

未来型産業都市の実現

beyond OTA
すべての可能性は太田から

既存事業や公共施設の見直しを積極的に推し進め、行政のスリム化を図る。

中長期的かつ戦略的に「ヒト」「モノ」「カネ」「アイデア」「意識」を次に掲げる太田市の3本柱に集中させ、産学官が連携し『ものづくりのまち』として持続的に発展できる未来型産業都市を実現させる。

太田市の3本柱



① **ミライにつながる産業振興**



② **快適な地域交通の推進**



③ **市民に寄り添うデジタルシフト**

22万人全員にとってウェルビーイング。未来型産業都市・太田

① ミライにつながる産業振興

工業、商業、農業、観光業において、新たなチャレンジや成長を支援するとともに、産業人材の育成、女性や若者の就業支援、地場産業の推進、働く人々の負担軽減を進めていく。

特に、工業においては国や県、群馬大学や産学官ものづくり研究機構、金融機関、会議所等と連携し、企業の生産性向上や競争力強化を図り、研究開発を促し、新規産業の創出につながるよう、伴走支援を行う。

技術革新

AI、IoT、ロボット、先端技術の導入

地域資源の活用

- 100億宣言企業の成長支援
- 企業等との関係構築
- 企業誘致
- 国・県の支援メニューの活用
- 既存補助制度の見直し・拡充
- ネットワークを活用した情報収集や意見交換

産学官金労の連携

- MROの強化・活用
- 企業のニーズに沿ったマッチング
- 人材育成や技術承継の支援

新たな価値の創造

- 金山周辺の観光振興
- スポーツと観光の融合
- 施設の民営化による価値創出

スタートアップ支援

- 新規参入への支援
- なでしこ未来塾
- 公共施設の多様な使い方

子育て世帯など 就労者の負担軽減

② 快適な地域交通の推進

公共交通計画をフックとして、市民のペインポイント（課題・悩み・不便さ）を的確に捉え、「地域交通」に関連する様々な課題の解消に向けて取り組むとともに、これまでの常識を見直し、新しい知見や技術等を活用しながら、鉄道会社やバス会社等と連携し、すべての市民にとって「快適」な地域交通を整備していく。

地域交通計画の策定・実行

交通渋滞の緩和

おうかがい市バスの見直し

都心からのアクセス向上

高齢者・障がい者外出支援

道路網の整備

実証実験による市民等の意識改革

ライドシェア等による人手不足の解消

③市民に寄り添うデジタルシフト

施設予約や申請・登録を、全庁的にオンライン化し、多様化する市民ニーズに対応していく。デジタルシフトにあたっては、市民教室等を有効活用するなどして、デジタルデバイドの解消を横断的な取り組みで進めて、誰一人取り残さないよう市民に寄り添っていく。

また、職員のデジタルスキルを向上させ、業務の効率化や省人化を図るだけでなく、アンケートや統計データなどを分析し、政策に反映させていく。

施設予約、申請・登録のオンライン化

- 施設の利用登録、入退室
- 講座・地域交通等の予約
- 助成金や補助金の申請 等

市民講座との連携

- オンライン化された市民サービスを学ぶ機会の創出
- 市民のデジタルスキルの向上

LINE登録者・目指せ10万人

デジタル人材の育成

- おおたプログラミング学校
- 群馬県との連携 等

企業のDX支援

スマート農業の推進

防災・防犯へのデジタル活用